

市議会ホームページ



みずなみ議会ちゃんねる。

12月定例会提出議案の概要	2
委員会の審査報告	2~3
市政一般質問	4~10
行政視察報告	10~11
常任委員会再編	11
視察受け入れ状況	11
議決結果一覧・編集後記	12

発行／瑞浪市議会 編集／議会広報広聴委員会
TEL／0572-67-1112 FAX／0572-68-2043
E-mail／gikai@city.mizunami.lg.jp



本年 4 月開校の瑞浪北中学校は、瑞陵・日吉・釜戸の各中学校の統合により「スーパーエコスクール」として新設され、1 月 17 日(木)に竣工式が挙行されました。なお 2 月 17 日(日)には、一般の方々を対象に「校舎・屋内運動場の内覧会」が開催されます。事前の申し込みは不要ですので、お気軽にお出かけください。

12月

定例会概要

平成30年11月27日から12月21日まで定例会が開催されました。上程された議案は、条例案件11件（うち議会提出1件）、その他の案件11件、人事案件1件、予算案件5件です。主な議案は次のとおりです。なお、委員会での審査内容は2～3ページに、議決結果は12ページに掲載してあります。

条例案件

●瑞浪市の議会の議員及び長の選挙における自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について【議第68号】

公職選挙法の改正により、市議会議員の選挙においてビラの頒布が可能となったため、ビラの作成に関する規定を追加し、併せて選挙運動の公費負担に係る規定を整理

●瑞浪市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について【議第69号】

放課後児童支援員の資格要件に、専門職大学の前期課程修了者を追加

●瑞浪市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について【議第70号】

技術管理者の資格要件に、専門職大学の前期課程修了者を追加

●瑞浪市分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について【議第71号】

ため池改修事業のうち土地改良法第87条の4に基づく県営土地改良事業（急施の耐震対策に係るもの）を実施する場合、地元からの分担金を徴収しないようにする

●瑞浪市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について【議第93号】

平成30年8月10日付け人事院勧告に基づき、国家公務員に準じて瑞浪市職員等の給与を改正

●瑞浪市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について【議第94号】

平成30年8月10日付け人事院勧告に基づき、国家公務員に準じて瑞浪市議会議員の期末手当を改正

予算決算委員会

一般会計及び特別会計4件の補正予算を慎重に審査した。一般会計補正予算について主な審査

ふるさと応援寄附金

概要 ふるさとみずなみ応援寄附金の事務経費に1,288万8千円を増額補正。

問 新しく登録するサイトと既存のサイトの違いはどのようか。

答 今までの「ふるさとチョイス」は最も会員数の多いサイトである。新しく導入した「さとふる」はCM等で知名度が高い。昨年度の寄附金は6千万円弱だが、今年度は一億円を見込んでいく。

スプレー缶の回収方法

概要 スプレー缶穴あけ不要の回収に向け、穴あけ機を購入するための債務負担行為。

問 スプレー缶の取り扱い変更についての進捗状況はどのようか。

答 平成31年4月から変更するために、1月から連合自治会などで説明し、順次周知を図り、並行して「ゴミの便利帳」の整備を行っていく。

大河ドラマ「麒麟がくる」

概要 来年の大河ドラマ「麒麟がくる」の活用推進事業に60万円の補正予算。

問 岐阜県大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会の事業のうち、本市に関連するものは何か。

答 PRパンフレットには市内の明智光秀ゆかりの地を掲載するほか、PRイベントへの参加、タイルや陶磁器を使ったおみやげ品の開発等を予定している。

総務委員会

市議会議員選挙に於いて

ビラの頒布が可能

概要 瑞浪市議会の議員の選挙において有権者が各候補者の氏名、経歴、政見等について知る機会の拡充を図るためのビラの頒布が可能となったことに関し、必要な条例の改正。（平成31年3月1日施行）

主な質疑

問 今回の改正によって選挙公営制度における公費の負担は候補者一人当たりどの程度の加算となるか。

答 ビラは一枚7円51銭で、4千枚までである。公費の加算は候補者一人当たり3万40円となる。

市議会議員の期末手当

支給率の改正

概要 平成30年8月の人事院勧告に基づき、国家公務員に準じて市職員等の給与制度を改正。同様に市議会議員については期末手当の支給割合を改正。

主な質疑

問 今回の改正によって、議員の期末手当は0.05ヶ月分上がるが金額にして如何ほどか。

答 議長で2万5千800円、副議長は2万3千400円、一般の議員は2万2千500円である。

民生文教委員会

放課後児童クラブ支援員

資格要件改正

概要 学校教育法の一部改正に伴い、放課後児童支援員の資格要件について、専門職大学の前期課程修了者を追加する。

主な質疑

問 放課後児童支援員の資格等の基準が廃止、もしくは緩和する方向に向かっているが、なぜ今改正する必要があるのか。

答 今回の条例改正は、学校教育法の一部改正に合わせて行うもので、現時点では、基準緩和の通知が出されているわけではない。今後は通知があれば対応を検討する。

問 専門職大学とはどのようなものか。

答 実践的な職業教育に重点を置いた仕組みとして制度化されたもので、産業界と密接な連携によって、専門職業人材の養成強化を図るために設けられた大学である。

現在、文部科学省により平成31年4月の開校を認可されているのは2校である。



放課後児童クラブの様子

経済建設委員会

ため池の耐震改修

受益者分担金不要

概要 土地改良法の改正により、ため池の耐震化を目的として緊急的に施工される県営土地改良事業は受益者分担金を徴収しない。

主な質疑

問 過去の工事は受益者分担金の徴収がなされていたが、耐震工事の審査概要はどのようなか。

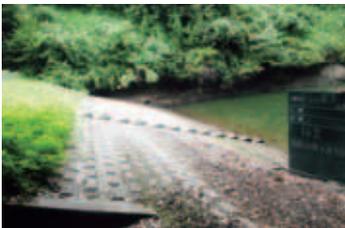
答 県が耐震調査を行い、9つのため池を調査したうち耐震的に不適合であるものが2つあり、今後は県の事業により受益者分担金無しで改修を進めていく。

問 本市におけるため池の数をどのように把握しているか。

答 ため池台帳で把握しているのは99であり、他に記載のない農業用ため池として使用されているため池が100程度あると思われる。

問 一般的なため池工事の場合は受益者の同意が必要であると考えるが、今回施行される法律においては、緊急的に施工される場合は受益者の同意はどのように扱われるか。

答 災害を未然に防ぐということが大前提であり、耐震的に問題のあるため池は受益者の同意を得ることなく工事が実施できる。



耐震不足の桜堂ため池

議会改革・総合計画 特別委員会

魅力的な暮らしを創造する

概要 議会基本条例の制定により、議会の議決が必要となった「第6次瑞浪市総合計画」の後期基本計画が策定された。

主な質疑

問 農業用ため池改修で、議会の一般質問に市長は、単独事業で行うと答弁されたが、この計画に位置づけていない理由はどのようなか。

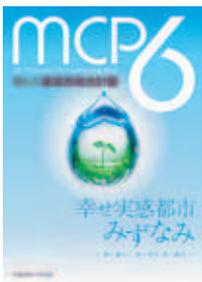
答 具体的な事業については、実施計画で位置づけ、対応していく。

問 情報共有でSNSの活用計画はあるか。

答 SNSの活用はまだ具体的にまとまっていない。来年度策定する第4次情報化推進計画の中で具体的な方向性を示す。

問 市民からのパブリックコメントが114件もあった。意見はどう取り上げたか。

答 意見は各検討部会で確認し、必要に応じて修正し、審議会、庁議を経て決定したものを後期基本計画に反映した。



第6次瑞浪市総合計画冊子

市政一般質問

一般質問映像
検索はこちら



市政一般質問では、議員が市長等に対し、行政全般にわたり市の施策や方針など諸問題について質問し、答弁を求めます。

12月定例会では12人の議員が24の標題にわたって質問をしました。質問した議員ごとに主な質問を掲載しています。

樋田翔太（清流会）

- ・本市の防災体制について
- ・瑞浪駅周辺の再開発について

成瀬徳夫（新政みずなみ）

- ・明世小学校区の安全について
- ・本市の観光行政について

石川文俊（新政みずなみ）

- ・防犯対策について
- ・防災対策について
- ・高齢化社会に向けた取り組みについて

熊谷隆男（新政みずなみ）

- ・防災対策（土砂災害）について
- ・防災対策（森林整備）について

成重隆志（新政みずなみ）

- ・東濃西部広域行政事務組合について
- ・広域連携について

榛葉利広（公明党）

- ・「100万人訪問・調査運動」から見てきた課題について

小川祐輝（新政みずなみ）

- ・高齢運転者の安全確保について
- ・太陽光発電設備設置について
- ・[Society5.0]で実現する社会に向けた取り組みについて

渡邊康弘（新政みずなみ）

- ・瑞浪市「子ども調査」について

大久保京子（新政みずなみ）

- ・市道下益見1号線の交通安全対策について

館林辰郎（日本共産党）

- ・平成29年度事業の評価について
- ・瑞浪北中学校の建設費について
- ・水道事業の広域連携について

小木曾光佐子（新政みずなみ）

- ・子どもたちの安全・安心のための施策について

大島正弘（市民ファーム）

- ・新エネルギー推進施策について
- ・テロ等を含む武力攻撃の危機管理体制について
- ・エゴマを地域振興の作物として推奨することについて



樋田翔太（清流会）

地域と学校で取り組む防災

問 近年日本各地で大規模な災害が発生しており、本市においても豪雨や地震などによる災害がいつ発生してもおかしくない。市職員の防災知識の向上と防災体制の強化、地域・学校と連携する取り組みが必要と考える。また通勤・通学で本市を訪れている方が被災者や帰宅困難者となる可能性もある。災害情報を正しく伝える方法についての検討はどのようか。

答 市職員の防災士の資格取得者は全職員399人中40人、管理職では56人中12人、危機管理室では42人中11人、今後もし引き続き、自己のスキルアップの中で資格取得者を増や



瑞浪中学校での災害図上訓練

まちづくりで駅周辺の魅力向上

問 駅周辺の再開発は平成27年度から国の補助事業を受け30年度は市単独で4875万円を投入している。市の保有する駅前広場や駅北ロータリーの利便性向上を検討しているのか。また、公共施設を導入する可能性はあるか。

答 30年度は基本構想の取りまとめを委託し、「瑞浪駅周辺まちづくり基本構想策定業務」の一つとして「えびす夜会」や「まちづくり講演会」などを開催している。駅前広場はまちの活性化につながるイベントなどの開催が出来る機能を担保していく。送迎時の混雑解消に向け駅北広場も含め、公共施設の導入についても検討していきたい。

まちづくり基本構想策定業

登校道路の安全確保



成瀬徳夫 (新政みずなみ)

問 明世小学校に至る急坂な登校道路には、平成29年8月のような法面崩落の危険性がある。

学校への侵入道路が一路線しかない。災害時を考慮した別の安全な道路が必要ではないか。

答 地理的条件から新たな道路建設は現実的ではない。現在の道路は、校舎入口まで市道「明世小学校線」として認定されており、通学には最適な道路であると考ええる。担当部署と協力しながら、しっかりと維持・安全管理に努めていく。



法面が崩落した登校道路

観光協会の法人化の推進

問 観光振興を推し進めるために、他市では観光協会の法人化を進め、観光振興に力を入れている。

本市では観光協会の法人化をどのように把握しているかまた、法人化を進めるにあたり、本市はどのような方向性で観光振興を推進していくのか。

答 東濃5市では4市が法人化しており、市、観光協会、

商工会議所との間で、法人化に向けての具体的な組織体制や事業内容、スケジュール、情報発信の拠点等の検討、協議を進めていくこととしている。

国・県は、増大するインバウンド消費を更に拡大すべく様々な施策を実施しており、本市も観光客の受け入れ体制の強化が必要であると考え

詐欺被害の現状は

問 近年、日本中において振り込め詐欺などの被害が後を絶たない。市内における被害の現状や防止対策の状況はどのようなか。

答 本市における振り込め詐欺などの被害の状況は、平成29年が5件で被害金額365万円、30年は10月末現在で5件、被害金額697万円と増えている。

相談件数も年々増加し、平成28年度が27件だったが30年度は10月末で既に44件となるなど、主に架空請求ハガキに関する相談が増えている。

多治見警察署から詐欺に関する情報があった場合は、防災ラジオや「絆」メール、市のホームページ等で注意喚起を行っている。

介護予防遊具の促進

問 高齢化が進む社会状況において市民がいつまでも健康でいられるように、公園などに気楽に運動ができる介護予防遊具の導入を進めている自治体が増えている。

本市においても導入を促進できないか。

答 現在市民の健康づくりを促進する観点から市民公園の憩いの広場付近にぶら下がりや上体ひねり、背伸ばし等のストレッチができる健康遊具を4基設置している。

高齢者が自身の健康づくりや介護予防のため、普段の生活の中で自発的に体を動かしたり健康管理についての意識を持っていただくことは非常

に大切なことである。介護予防を目的とした遊具の設置については先進事例を参考にしながら研究していく。



石川文俊 (新政みずなみ)



市民公園内の健康遊具



熊谷隆男 (新政みずなみ)

急傾斜地への防災対策

問 瑞浪市分担金徴収条例の改正において「ため池改修事業」の耐震のみを対象とし、「急傾斜地崩壊対策事業」を対象としなかったのは何故か。

答 ため池改修は、急を要する場合に受益農業者の同意無く国または地方公共団体が実施できることとなり、岐阜県は県営土地改良事業の実施に当たり、地元からの分担金を徴収しないこととしたことが

ら本市も、同事業に関し分担金を徴収しないこととした。急傾斜地の崩壊対策は急傾斜地の所有者、管理者、占有者、または急傾斜地の崩壊により被害を受ける恐れのある方が行うべきものであることから、本事業における分担金は地元受益者が負担すべきものと考え、改正対象としなかった。

倒木被害への防災対策

問 市管理道に岐阜県の里山林整備事業の活用や本市独自の倒木対策は考えられないか。

答 里山林整備事業の活用に合わせて、本市独自の倒木対策の補助制度を創設して対応できないかを検討している。

道路に倒木として影響を及ぼすことが予想される樹木に対し、道路管理上伐採の必要性を判断しつつ、里山林整備事業が活用できる箇所はこの事業で対応し、それ以外の箇所は創設する制度で対応する。創設する制度は、実施主体である土地所有者等への補助制度となり、道路管理上で倒れると影響する樹木伐採に要する経費に補助を行うことを検討しており、早期運用開始に向け、制定準備を行っている。

る。



倒木被害

東濃西部広域行政事務組合の現状と課題

問 組合における現在の状況と課題はどのようなか。

答 1つ目は、現在、既に検討をしている事業で、消防機能の広域化の検討である。この件については、組合が、恵那市、中津川市も交え、東濃5市での消防通信指令業務に係る広域化の研究を進めているところである。2つ目は、以前に検討をしていたゴミ焼却施設の広域化で、現状では3市の施設の建設時期が異なることから、各市が施設の維持管理をしつかり行うこととしており、組合においては、

将来の施設建設の際には、かかるべき時期に、必要があれば協議を行うこととなっている。



年2回発行される広域だより

広域連携の今後

問 どのような分野で必要と考えるか。

答 特に重要と考える分野は医療分野で、今後必要となる病床数や医師確保等の問題から、土岐市立総合病院と東濃厚生病院の1病院化は、将来的には避けて通れない状況だと思つ。しかし、場所や経営主体、更には建設費用、医療従事者確保の問題など課題が多くあり、厚生連、土岐市、

県との協議をしていく。

次に必要な分野は観光・産業振興で、多くの魅力ある観光資源の情報発信や案内ができるように考えている。

また災害時の応援体制なども重要である。その他にも水道事業など、今後も様々な分野で広域連携が求められていくと考えており、必要に応じて対応していく。



成重隆志 (新政みずなみ)



榛葉利広 (公明党)

フレイル予防で介護予防

問 高齢者に発生しやすいフレイル（虚弱）は、適切に予防すれば日頃の生活にサポートが必要な要介護状態に進まらずにすむ可能性がある。フレイル予防については、今後どのように取り組んでいくのか。

答 本市ではフレイル予防として、理学療法士、健康運動指導士などの専門職による、筋力の維持向上を目的とした介護予防教室を開催している。また、この教室の中では、栄養不足から筋肉量の低下を招き、更に活動レベルが低下するといったフレイルの進行を予防するために、管理栄養士による栄養指導も行っている。口腔に関しては「ねふ」

さわやか口腔検診に、口腔機能の虚弱や低下を早期に見するための舌・口腔機能と嚥下機能の検査を、来年度から実施できるよう瑞浪歯科医師会と協議をしている。



介護予防運動

ペアレントメンターの周知

問 発達障がいのある子どもを持つ親に対して、共感的なサポートが行えるペアレントメンター（自身の子育ての経験から相談に応じたり、有益な情報を提供したりするボランティア支援者）の周知啓発を進めてはどうか。

答 ペアレントメンターによるサポートについては、平成

27年度より岐阜県が派遣事業を行っている。

本市では、ペアレントメンターを活用した実績はないが、今後、子ども発達支援センターとも協力し、制度の周知を図るとともに、経験者として話をしたいと機会を設けていきたいと考えている。

太陽光発電設備設置について 条例制定を求む

問 太陽光発電設備の設置に対し、災害防止、景観等への規制を含めた条例の制定について考えていくべきではないか。

答 近年、太陽光発電設備の設置に対する市民の関心が高く、反射光による生活環境の悪化や地域周辺の景観にそぐわない等の通報・相談がある。

その中で「瑞浪市土地開発事業及び特殊建築物に関する条例」の対象でない場合、事業そのものを把握していないため、対応に手間取るケースが多くあり、近隣市でも太陽光発電設備に特化した条例等を制定している。先進事例を精査し、本市独自の条例等の制定に向け研究を進めていく。

未来の社会に向けて

問 「ソサエティ5.0」で実現する社会に向けて積極的に情報収集し、ほかの自治体をリードするように取り組むべきと考えるが、本市の考えはどのようなか。

答 「ソサエティ5.0」が目指す社会は、地域格差の無い社会ということで、本市のような中山間地域においてもその可能性は大いに期待するところである。国が描く未来社会であるので、我々も地方行政を進める中でICTやIoTを意識して取り組みを進め、本市が他の自治体に先んじて取り組めるテーマについて情報収集や研究を進めてい

くべきと考えている。



※Society5.0(ソサエティ5.0)とは、経済発展と社会的課題の解決を両立する、情報社会(Society4.0)に次ぐ新たな未来社会。



渡邊康弘 (新政みずなみ)

子育て世帯の貧困対策は

問 瑞浪市「子ども調査」は、本市における子育て世帯の生活実態や、子どもと家庭が抱える課題を把握・分析されている。今後の効果的な子育て支援につなげるために重要性は非常に高いものであり、その結果についてどのように捉えているか。

答 瑞浪市「子ども調査」で貧困層の割合を算出したところ貧困率は5.9%。また本

市のひとり親世帯の割合は9.2%で、そのうち貧困率は20.8%であった。

調査の分析結果からは、低所得世帯では、保護者が疲れたと感じている割合が高いことや、子どもがひとりでご飯を食べている傾向が顕著に表れており、低所得世帯に対する支援の強化が必要であると感じている。

将来につながる学習支援

問 ひとり親世帯や低所得世帯の子ども達を含む、全ての子ども達が平等に夢と希望をもつて成長していけるよう、子どもの貧困対策を実施し総合的に支援する必要がある。寺子屋などの学習支援を検討すべきではないか。

答 文部科学省の「教育再生実行会議」において、全世帯の現役大学進学率が73.2%に対し、ひとり親世帯41.6%、生活保護世帯33.1%と大学進学率に大きな差があるという調査結果が報告されている。

低所得世帯の子どもは経済的事情ゆえに学習の機会が奪

われ、次世代への貧困の連鎖が懸念される。今後、低所得世帯への学習支援についても検討する必要がある。



定期的に関催される居場所支援



大久保京子 (新政みずなみ)

主要なアクセス道路となった

市道下益見1号線

問 この数年、高校生の通学の流れに市道下益見1号線を通学路とする傾向が見受けられ、人や車など交通量が増大している。歩行者が安全に通行できるためにどのような対策を考えているか。

答 市道下益見1号線は明徳橋南交差点より東へ延び、市道一色・益見線に至る延長400mの2車線道路である。土岐川に並行する区間は幅員2.5mの歩道が整備されているが、下益見土地区画整備事業にて整備された残り312m区間には歩道がない。交通量調査の結果、13時間で両方向の合計数は、自動車3、

239台、歩行者486人、自転車133台と交通量が多く、歩行者と自動車を分離した歩道の新設による交通安全対策を進める。



市道下益見1号線

歩道新設の基本的な方針は

問 歩道はどのように整備するのか。土岐橋架け替えとの関連はどのように考えているのか。

答 歩道新設は、現況道路を拡幅したうえで、明徳橋からの連続性を考え、北側に設置したいと考えている。今後、土地所有者や地域住民の方々等の意見を伺ったうえで、年

度内に最終的な説明会を開催する方針である。

土岐橋の架け替え工事は、相当長い期間が必要となる。土岐橋利用の歩行者や自動車が増えるため、土岐橋架け替え工事に着手する前に歩道新設が完了できるように着実に事業を進めて行く。



舘林辰郎（日本共産党）

決算評価を問う

問 平成29年度瑞浪市政の事業決算は、9月の定例会で審議を行い認定した。

人口減少、市民が安心して暮らせるまち、暮らしやすいインフラ整備、市の産業と経済の発展、市民と行政が協働してのまちづくりなどの課題があった。
決算に対する評価はどのようか。

答 主な事業では、本庁舎耐震改修、稲津幼稚園大規模改修、陶中学校の陶小学校転用、陶中学校の陶小学校転用、移住定住奨励金交付、デマント型交通運行、高校生市内就職促進などに取り組み、予定どおり実施し評価できる。

本市の財政は、健全化判断比率など適正な数値であり、健全である。

水道事業の広域連携の

促進を求める

問 本市の水道料金は高い状況にあり、市民の値下げ要望も多い。一方、今後の経営環境は一層厳しくなると予想される。広域連携を進めるべきではないか。

答 広域連携は経営基盤の強化の有力な方策であり、スケールメリットによる経営の効率化をもたらすものである。広域連携の検討は県が主宰する組織で既に始まっており、課題の整理などを進め、今年度末には中間報告が予定されている。事業統合にあたっては、水道事業者間で料金、財務状況、施設状況などの違い

があり、調整に長時間を要することから、検討を進める時期に来ている。



岐阜県東部広域水道事務所

教育現場へ看護師の配置を

問 医療的ケアの必要な児童が普通学級に通えるようにするため、教育現場に看護師の配置について考えているか。

答 本市では病弱学級への入級を希望しているお子さんがいるので、任命権者である岐阜県教育委員会に病弱学級設置の要望をしている。看護師についても同様に要望している。

文部科学省の学校における

医療的ケアの実施に関する検討会議が制度設計を行っており、学校においてできる医療的ケアの範囲や研修会の機会等についての最終まとめが平成31年2月に出る予定なので、さらに細かい対応について考えていく。

市道水上・猿爪線に歩道橋を

問 陶小学校の入り口付近の押しボタン式信号機のある横断歩道を歩道橋にすることはできないか。

答 現状の交通量等から実現は難しいと考える。

また歩道橋利用が困難な方のためには歩道橋ではなく横断歩道により歩行者の安全を確保することが望ましいと考える。

歩道新設に関連して、公安協議を進めているが、公安委員会からは現状の水上・猿爪線の交通量が少ないため、既存の信号機を撤去できないかとの提案がある。市としては通学児童の安全を守るため、

既存信号機を残し、水上・猿爪線側の既存の横断歩道に加え、陶中学校・平線に横断歩道を新設できるよう協議を進めている。



押しボタン式信号機のある横断歩道



大島正弘 (市民ファーム)

太陽光発電設置補助は終了

問 本市独自の太陽光発電システム設置補助金制度が平成30年度で終了するに至った経緯はどのようか。また今後の新エネルギー推進についての制度の詳細はどのようか。

答 平成29年度末までの設置補助累計件数は758件であり、全市の約7%の家屋に太陽光パネルが設置されたことになり、パネルの価格が当初と比べ4割以下となったことから、補助金を支給する目的

を達したと考え、本年度をもって制度を終了するに至った。今後は新エネルギーを積極的に利用できる環境を整えるため、設置済の太陽光発電システムに蓄電池や電気自動車を導入し、接続して利用する場合や温室効果ガス削減に効果が高い燃料電池（エネファーム）の導入に対する補助制度を平成31年度施行することを目標としている。

エゴマ油は血液サラサラ効果

問 エゴマの作付けを積極的に行っている日吉機械化営農組合の活動、エゴマ搾油場「えがお工房」の稼働状況とエゴマ油を瑞浪の特産品としてどのように位置付けるか。

答 農事組合法人日吉機械化営農組合は設立以降長年にわたり地域農業を牽引している。本市の農業振興の一翼を担う組織として高く評価し、支援をしていく。

えがお工房は平成28年に各種補助金を活用して竣工し、エゴマの洗浄、乾燥、選別、搾油、充填を行う施設である。昨年度は90gの製品を約80

0本製造し、売上金額は97万6千円となった。

現在エゴマはブームが到来しており、絶好のチャンスと考える。本市は、特産品化作物として指定し、きなあた瑞浪での販売に対し交付金を支給している。栽培面積の拡大や製品開発、販路拡大を支援していきたい。



エゴマの穂

民生文教委員会行政視察

兵庫県淡路市(10月4日) 人口43,977人、面積184.32km²

視察目的 本市でも「瑞浪市ICT活用推進計画」が策定され、今年度から端末の整備が始まった。平成30年整備が完了した淡路市の手法を学び、本市のICT教育の活性化に繋げるため。

視察項目

- ・タブレット端末活用教育の特徴
- ・タブレット端末貸与に関する研修員制度
- ・タブレット端末の活用状況と児童・生徒の評判
- ・「iTunes U」の活用
- ・職員研修などへのタブレット端末活用

視察報告

教育委員会がタブレット教育に興味がある教員を公募することから始まり、端末は学校単位ではなく、教員に紐づけした整備を行い、失敗もあったが実践の中でこそ良さがよくわかったとのこと。教員の負担増の懸念もあったが、大事なことは「授業改革」であり、今ではベテラン教師も積極的に活用している。

重点的に取り組んだのは人材育成で、研修員制度の活用によりその成果や活用方法が共有されている。児童生徒の評判も良く、「発表する機会」や「話し合う活動」の場が増え、情報収集力の向上に繋がっている。本市においても研修員制度について一考の余地があると考ええる。



淡路市での視察

奈良県奈良市(10月5日) 人口360,310人、面積276.94km²

視察目的 社会問題化する「若者のひきこもり、不登校、無業者(ニート)対策について、先進地の若者サポートセンター「リスなら」の支援内容を学び、本市の取り組みの参考とするため。

視察項目

- ・くらしと仕事支援室設置の経緯と体制
- ・くらしとサポートセンターについて
- ・若者サポートセンター「Restartなら(リスなら)」について

視察報告 中学校卒業後や高校退学後の若者に重点を置いた支援。相談窓口がなかったことから、若者のひきこもり・ニート化を防ぐため、平成30年7月から奈良市若者サポートセンター「Restartなら(リスなら)」を開設し、義務教育後からの切れ目のない子ども若者支援を行っている。現在、保護者や関係者からの相談がほとんどとのこと。

キャリアコンサルタントや元中学校教員等が電話相談や面談により対応するが、まだ始まったばかりの事業であるため、模索されていることも伺えた。直接相談できる体制の整備とあわせて本市でも検討すべきと考ええる。

民生文教委員長 榛葉利広

経済建設委員会行政視察

静岡県富士市(10月18日) 人口24,483, 399人、面積244.95 km²

視察目的 本市の「新たな事業チャレンジ支援補助金制度」の参
考にしたく、富士市発のビジネス支援センターの取り組みを学ぶ。

視察項目

富士市産業支援センターF-Biz(エフ・Biz)の取り組みについて

- ・センター開設のきっかけ
- ・各種機関との連携
- ・取り組み(支援)の内容、実績、自己評価
- ・地域にどのような効果が表れているか

視察報告 富士市が雇用している専属経
営コンサルタントが企業や団体などが抱
える課題・問題に対し、丁寧に取り添う
総合相談窓口であり、数々の問題解決の
糸口を見つけ出し、起業・創業者も数多い。

講師の話の中で「補助金・助成金は税金のバラマキであり効果
は少ない。お金を掛けない企業支援はコンサル業務である。」と
の言葉が印象に残った。



富士産業支援センターでの視察
F-Biz(エフ・Biz)の取り組み

静岡県三島市(10月19日) 人口110,046人、面積62.02 km²

視察目的

水と緑、文化と歴史に加え「花」という癒しの彩りを
添えることで「三島に住みたい」「三島を訪れたい」を目的に行
われている事業内容を学び、本市の取り組みの参考とするため。

視察項目

ガーデンシティみしまアクションプランについて

- ・プロジェクトの目的と市総合計画における位置づけ
- ・各種団体との共同体制
- ・ガーデンシティみしま推進会と行政の連携、役割
- ・プロジェクトの進捗状況

視察報告

ガーデンシティの推進を市の主要施策とし、企業や個
人、地域の人々が花壇の整備だけでなくゴミ拾い等の清掃活動も
実施し、市民の参加型・体験型での事業の取り組みであり、市が
育苗センターを独自で持っていることが事業の推進に大いに寄与
していると感じた。

三島駅まで車で移動した際、市内にゴミも少なく、花壇も大変
綺麗に手入れされていた。立地的、環境的な要素も考えられるが、
他の都市が「まねをできない」価値があり、移住定住の効果の一
端を担っている事業だと感じた。

経済建設委員長 大島正弘

12月定例会で委員会条例を一部改正 常任委員会構成を見直しました!

次の3月定例会から常任委員会への付託件数を平準化し、充実した審議を行うため、予算決算委員会以外の
3つの委員会を2つに変更しました。各議員は委員会で多くの事項を審査することができ、さらに議員活動も
広がり、充実した審査が期待できます。

これまでの常任委員会… 議員は予算決算委員会の他に下の3つの委員会の中から2つの委員会に所属
総務委員会(11人)、民生文教委員会(10人)、経済建設委員会(10人)、予算決算委員会(全議員)

新しい常任委員会… 議員は予算決算委員会と下の2つの委員会のどちらかの委員会に所属
総務民生文教委員会(8人)、経済建設委員会(8人)、予算決算委員会(全議員)

	名称	定数	所管事項
常任委員会	総務民生文教委員会	8人	総務部、まちづくり推進部、民生部、福祉事務所、会計室、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員及び公平委員会の所管に属する事項(予算決算委員会が所管する事項は除く。)並びに他の常任委員会の所管に属さない事項
	経済建設委員会	8人	経済部、農業委員会、建設部及び消防本部の所管に属する事項(予算決算委員会が所管する事項は除く。)
	予算決算委員会	16人(全議員)	予算及び決算に関する事項

行政視察の受け入れ状況

視察日	視察者	視察の主な内容
平成30年11月6日	北海 ^{ふかがわ} 道深川市議会 会派(民主クラブ)	・瑞浪市コミュニティバスについて (概要、事業効果、今後の展開と課題)について

12月定例会議決結果一覧（その1）全会一致の案件

案 件	議案番号	議 案 名	付 託 先	採決結果
条例案件	議第 68 号	瑞浪市の議会の議員及び長の選挙における自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総 務	可決
	議第 70 号	瑞浪市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	経済建設	可決
	議第 71 号	瑞浪市分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について	経済建設	可決
	議第 72 号	瑞浪市畜産手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	経済建設	可決
	議第 73 号	瑞浪市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	経済建設	可決
	議第 74 号	瑞浪市公民館の設置及び管理に関する条例及び瑞浪市北部多目的研修集会施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	民生文教	可決
	議第 75 号	瑞浪市民体育館の設置及び管理に関する条例及び瑞浪市日吉スポーツ施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	民生文教	可決
	議第 93 号	瑞浪市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	総 務	可決
その他の案件	議第 76 号	第 6 次瑞浪市総合計画後期基本計画を定めることについて	議会改革・総合計画特別	可決
	議第 77 号	土岐市・瑞浪市介護認定審査会共同設置規約の変更について	民生文教	可決
	議第 78 号	土岐市・瑞浪市障害者総合支援認定審査会共同設置規約の変更について	民生文教	可決
	議第 79 号	市道路線の認定について【寺屋敷線】	経済建設	可決
	議第 80 号	市道路線の認定について【南半入道線】	経済建設	可決
	議第 81 号	市道路線の認定について【東半入道線】	経済建設	可決
	議第 82 号	訴えの提起について	経済建設	可決
	議第 83 号	訴えの提起について	経済建設	可決
	議第 84 号	指定管理者の指定について【地域交流センター ときわ】	経済建設	可決
	議第 85 号	指定管理者の指定について【稲津公民館】	民生文教	可決
議第 86 号	指定管理者の指定について【日吉公民館及び北部多目的研修集会施設】	民生文教	可決	
人事案件	議第 87 号	瑞浪市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて【牧野義昭氏】	省 略	同意
予算案件	議第 88 号	平成 30 年度瑞浪市一般会計補正予算（第 6 号）	予算決算	可決
	議第 89 号	平成 30 年度瑞浪市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 1 号）	予算決算	可決
	議第 90 号	平成 30 年度瑞浪市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）	予算決算	可決
	議第 91 号	平成 30 年度瑞浪市水道事業会計補正予算（第 1 号）	予算決算	可決
	議第 92 号	平成 30 年度瑞浪市下水道事業会計補正予算（第 1 号）	予算決算	可決
条例案件	発議第 4 号	瑞浪市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	省 略	可決

*議第 79 号から議第 81 号、議第 84 号から議第 87 号は内容を分かり易くするため、議案名の後に【 】で補足しています。

12月定例会議決結果一覧（その2）賛否が分かれた案件

案 件	議案番号	議 案 名	付託先	採決結果	成重隆志	柴田増三	館林辰郎	熊澤清和	大島正弘	加藤輔之	石川文俊	熊谷隆男	榛葉利広	成瀬徳夫	小木曾光彦	大久保京子	渡邊康弘	小川祐輝	樋田翔太	
条例案件	議第 69 号	瑞浪市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	民生文教	可決	○	○	●	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第 94 号	瑞浪市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総 務	可決	○	○	●	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長（熊澤清和議員）は採決に加わらない ※ 採決結果は、○=賛成 ●=反対

編集後記

◆会期
2月22日(金)～3月22日(金)
◆市政一般質問
3月7日(木) 9時～
3月8日(金) 9時～

3月定例会の予定

議会広報紙「議会ちやんねる。」の発行も第45号を迎えることができました。初回の発行からもう10年以上経過致しました。常任委員会、一般質問、行政視察等々、紙面の殆どは議員自ら原稿を書いています。文章を「です。」「ます。」調では掲載せず、「である。」「考えている。」調の文章に統一するための慣れない作業に苦しい時期を乗り越え、順調に発行作業が進むようになりました。報告内容では行政用語を多用しないように心掛け、市民の皆さんに解りやすく、読みやすい紙面作りに励んでいます。特に誤字・脱字のないように細心の注意を払っていますが、気付かれた方は是非ご一報いただきますようお願い申し上げます。今後ともご愛読下さいますようお願い申し上げます。

議会広報広聴委員
大島 正弘